

54 A 312-2
53 B 51

特許庁

実用新案出願公告

実用新案公報

昭31-19213

公告 昭31.12.8 出願 昭29.12.11 実願 昭29-44147

考案者 山本健一

広島市舟入川口町715ブロック
住宅17号

出願人 東洋工業株式会社

広島県安芸郡府中町字新地6047

代理人弁理士 原田秀

(全2頁)

Vベルト伝動装置に於けるVベルト冷却装置

図面の略解

第1図は本案の縦断側面図、第2図は一部を縦断した正面図である。

実用新案の性質、作用及効果の要領

本案は駆動軸1上のV調車2と、被動軸3上のV調車4とを、Vベルト5を以て伝動するようにしたVベルト伝動装置に於て、之等V調車及Vベルトを吸気口6及排気口7を設けた包籠8を以て包囲し、且上記V調車2に適當の翼片9を設けて成るものである。

從来特に車両用Vベルト伝動装置に於ては、V調車及Vベルトに塵埃等が甚しく附着するだけでなく、之を巻き込んで機能を害し或は危険を伴うものであったものであるが、本案のように之等V調車及Vベルトを包籠8を以て包囲するときは、こ

の欠点を完全に省除することができるものであつて、この場合包籠内に発生する熱は、V調車の底板に伴い翼片9を以て排気口7より包籠外に排出し、吸気口6より冷気を包籠内に吸入するため、Vベルトは絶えず冷却されて発熱によるVベルトの耐久性の低下を來さしめるようなことのないものである。

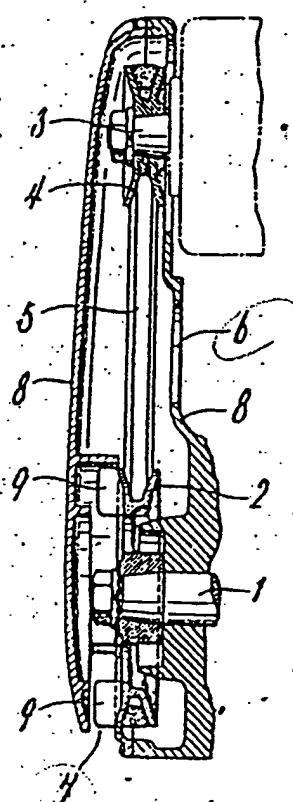
登録請求の範囲

図面に示すように駆動軸1上のV調車2と、被動軸3上のV調車4とを、Vベルト5を以て伝動するようにしたVベルト伝動装置に於て、之等V調車及Vベルトを吸気口6及排気口7を設けた包籠8を以て包囲し、且上記V調車2に適當の翼片9を設けて成るVベルト冷却装置の構造。

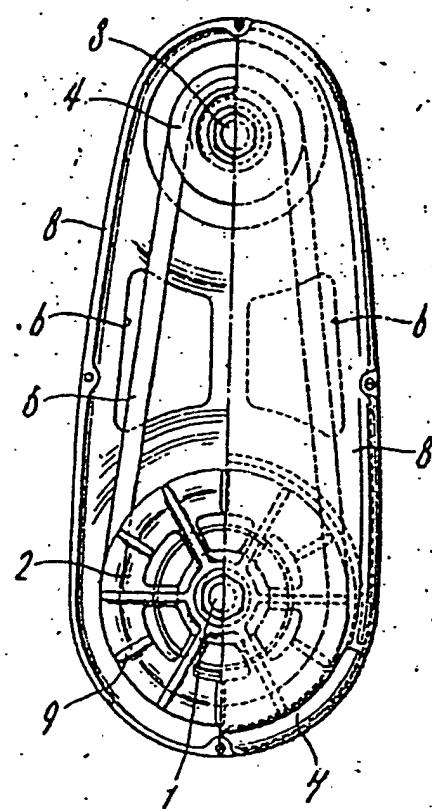
Best Available Copy

Best Available COPY

第1図



第2図



Best Available Copy

BEST AVAILABLE COPY